

新郷村三嶽神社のケヤキの保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県三戸郡新郷村大字戸来字三嶽下(三嶽神社 境内)
名木の名称	御神木 檜 1200年
名木の所有者	三嶽神社
治療年月日	平成27年9月17日
樹木医による 名木の診断内容	本ケヤキは神社正面の入口に生息し、まさに神社のシンボルであるとともに、地域の長い歴史の生き証人である。 樹勢は葉が縮小し衰弱してきているが、樹体のバランスは良くシンボルツリーとして生育している。 なお、衰弱の原因は、保護柵周辺の踏圧害の影響が大きく、根系に障害を発生させている。
実施した治療内容	樹勢の回復には、保護柵周辺の踏圧害である固結した土壌を掘り取りし、掘り取った土壌に高度な有機質改良材と活性炭を混合して埋め戻し、細根の発生を促進させ活動根を殖やす。 ・土壌改良工(固結した土壌の団粒化及び有機質化促進) ・発根促進工
今後の名木に 対する留意事項	経過観察する。



新郷村大字戸来

三嶽神社のケヤキの木です。



土壌改良剤混合



発根剤と栄養剤の散布